

～オミクロン株が主流である間に学校で児童生徒や教職員の感染が確認された場合の対応図～

〈感染者が感染力を持っている期間(感染可能期間)〉

- 感染者が有症状の場合 症状が出た日の2日前 (令和 年 月 日)から
- 感染者が無症状の場合 検体を採取した日の2日前 (令和 年 月 日)から

学校内(校外学校行事含む)で感染者の感染可能期間に、感染者と接触があった。

いいえ

はい

感染者本人のみ出席停止。
引き続き感染対策を徹底し感染者の最終登校日から7日間は他に症状のある人がいないか確認する

感染者とマスクを着用せず、会話や飲食などのリスクの高い接触があった。
* 1

いいえ

はい

接触のあった人(または集団)について、一定期間(最終接触から7日間)は高齢者や持病のある方との接触を避ける、感染リスクの高い行動を控える、また症状がある場合は速やかに医療機関受診するよう指示するとともに、感染対策を強化する* 2

一定期間(目安最終接触から5日)の出席停止、加えて迅速検査キットの使用を検討

感染拡大・クラスターの懸念がある場合の対応 * 1

例

- ・感染者が複数発生。
- ・有症状者が複数発生。
- ・密集や接近等感染リスクの高い出来事に参加。
- ・出席停止の対象者が多数となることが予測される等

はい

- ・状況がわかるまで自宅待機
- ・行動履歴や接触場面等の資料・接触者リストを作成
- ・教育委員会へ相談
- ・学級閉鎖や学年閉鎖を検討
- ・必要に応じ保健所に作成資料を提出し相談

* 1・2 → 裏面を参照

* 1 感染拡大の懸念があるリスクの高い事例

- ・長時間バスで移動・バスの中での食事・宿泊等ともに長時間過ごした（修学旅行や大会等）
- ・向かい合って食事（教室や部室や空き教室等で向かい合って食事、学校（部活）帰りに飲食店で同じテーブルで向かい合っの飲食等）
- ・体育の前後の更衣室等でのマスクなしの会話
- ・マスクなしで体が触れあうほどの接近した運動
- ・マスクなしでの大声 カラオケ等
- ・飲食のシェア（水の回し飲み等）
- ・寮生活

* 接触が特定しており少人数であれば出席停止、接触が特定しておらず多数の場合は感染拡大の懸念がある場合の対応

* 2 感染者と感染可能期間に接触したクラスや部活等の生徒へ、感染者があったことを伝え、最終接触から7日間は高齢者や持病のある方との接触をできる限り避けることや、気になる症状がある場合は早期に受診すること、感染対策の徹底（特に会食やマスクを外しての会話を控える）等、指示する。

学校も感染対策を強化。（接触のあったクラスや部活は最終登校から7日間感染リスクの高い教育活動をできるだけ控える。）